

## 7 コハクチョウ

(カモ目)

*Cygnus columbianus*

兵庫県ランク:C

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

### 種の概要

北海道では旅鳥、本州では冬鳥、四国、九州、沖縄でも冬期に記録されることがある。兵庫県では主に10-翌4月に見られる。内湾、湖沼、河川、水田などに生息し、田の落ちモミや水生植物の根茎などを採食する。大きな群れが定期的に飛来するところでは、人為的に穀類やパンくずなどの給餌を行っているところも多い。

### 国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供:三谷康則

### 県内分布 ( )表記の市町では2002年以前に生息確認

姫路市、明石市、伊丹市、豊岡市、加古川市、赤穂市、小野市、(三田市)、加西市、養父市、丹波市、(たつの市)、(稲美町)、福崎町



### 主要な選定理由

| 影響の人為性 |       |          |       |       | 生態の脆弱性 (特殊性) |        |          | 学術上の希少性 |    |
|--------|-------|----------|-------|-------|--------------|--------|----------|---------|----|
| 個体数激減  | 分布域激減 | 餌の可用性の低下 | 特殊競争圧 | 特殊捕食圧 | 特殊繁殖環境       | 特殊採餌環境 | ねぐら休息環境・ | 局地的繁殖   | 希少 |
|        |       |          |       |       |              |        |          |         |    |

### 県内における生息状況およびその他特記事項

BランクからCランクに変更。

文献上では1969年に加古川市平荘湖で2羽が越冬した記録が最初である。1980年代から小野市、加西市のため池に2桁台の個体数で毎年渡来し、1990年代からも、但馬地域の円山川流域にも少数ながら毎年渡来するようになってきている。やや増加傾向が認められるため、BランクからCランクに変更した。

### 保護上の留意点

水草が生育する湖沼や河川の保全、人が四方を取り囲めない集団ねぐらの確保が重要。現在の水辺環境下では、人為的な保護がないと生息し難いところはあるが、過度な給餌は自然分布の障害となる。



写真提供:三谷康則



写真提供:但馬野鳥の会